

自然エネルギー:ミニ学習(72) 「日本と原発 4年後」を鑑賞しましょう

文責 宮井

(一)7月2日、グリーンプラザ2階 ケヤキホール 「日本と原発 4年後」が上映されます。

さくらの会・府中の主催で7月2日「日本と原発 4年後」(13時開場 開演 13時30分)が上映されます。河合監督の挨拶も予定されています。収益金は「3・11の甲状腺癌と取り組む関係団体」に寄付されるとのことです。「会」としては参観希望者分を一括して前売り券(1000円で買い、会員に半額補助する予定です。この際、是非、会員になっていただければ幸いです。すでにこの映画をご覧になった方の感想を掲載し、2015年に農工大で上映した河合監督一作目の「日本と原発」の参観者のアンケートの感想を紹介して、この映画を期待し、考える材料とします。

(二)『「日本と原発 4年後」を見てきました。』(E・Nさん)

下記はすでにこの映画を観られた会員の感想です。

「去る2016年5月7日、小金井の市民交流センター小ホールで上記の映画を観てきました。一言で云うと、1本目の「日本と原発」と内容のダブリが6~7割位?あったように思いましたが、何回見ても、避難命令が出てしまってみすみす見殺しにせざるを得なかった人々の苦悩とご遺体の映像が胸にぐさりと突き刺さります。

あれだけの大事故を起こしながら未だ日本からなくせない理由が、ホワイトボードに図示しながら説明された時、ほとんどの「原発リテラシー」の無い人にも、ハタと膝をうって納得してもらえらるだろうと思いました。「原子カムラ」の村民たちがうるわしい相互扶助の中で共存共栄するためのシステムであり、放射線の影響で苦しむ国民一人一人の生活も人生もその為の捨て駒に過ぎないと判りました。

後半に、小泉元首相と監督が握手をしている場面が出て来ますがこれには少々首を傾げてしまいました。利用出来る人、と踏んだのかも知れませんが……。監督のお話のあと、「府中の農工大で上映会を開いたらお話に来て下さいますか?」と聞いたところ、「行ってもいいよ」とのお答えでした。河合弁護士は明るく楽しい小柄な方で楽天的に原発ゼロを信じていて、その為にたゆみ無い努力を続けていらっしゃる様子でした。実現させたいですね。テロや地震に襲われる前に」

(三)「若ものたちは『日本と原発』をどう見たか」(2015年5月上映会のアンケートより)

昨年(2015年)、農工大で5月13,16日の両日にわたり、「日本と原発」を上映し、284名の方がご覧になりました。若者も多く参加しましたが、今回は特に10代の若者(当時)から寄せられたアンケート結果を掲載します。若い人々の感性に学びたいと思います。

一「あらためて原発事故の悲惨さを感じました。福島の人々の震災発生当時のこと、避難区域になってからのこと、様々な苦しみを深く知りました。映画の内容は今後、忘れてはならないことであり、また多くの人々に伝えなければならない重要なことだと思いました」

二「学校ではゼッタイに知れないような深いところ、また実際原発と闘っている人の話を聞くことができ貴重な体験になりました。自分の友人にはあまりこういった問題に興味をもっている人が少ないので時間があつたら見に行かせたいと思います」

- 三「被災者、元官僚、弁護士など様々な方面の人の話しを聞くことができ、原発はとても恐ろしく様々なものに悪影響を及ぼすものであり、今すぐ解決されるべきものだと再認識しました」
- 四「政府が何をやっているのか・・・河合さんが黒板に書いたことに・・・驚かされました。・・・背景を調べ、原発を止めたとき何をやっていかなきゃいけないのか考えたい。この次は集団的自衛権を取り上げて欲しい」
- 五「原発についての詳しい仕組みがわかったし、被害についての映像が印象に強く残った。より多くの人が原発問題に関心を持てる素晴らしい作品だった」
- 六「テレビでは真実が報道されないが、この映画で真実を知ることができた。とてもわかりやすかった。自分の知識の無さを知り、私もちょっと頑張ります」
- 七「実際に原発の被害に会われた方の話しや、なぜ原発がいけないのかなどわかりやすくてよかったです」
- 八「原発に反対するためには、大きな財界や原子力ムラについて考えなければならないと思った。企業は自国の自然エネルギーに力を入れて欲しい」
- 九「今の今まで忘れかけていた3・11や原発を思い出す作品であり、忘れてはならない、後世に伝えていかなければならないと思いました。原子力発電の恐ろしさが明白であるのに、なぜ使い続けようとするのか怒りを感じた」
- 十「原発問題全体に広く焦点が当てられていてかつ図やグラフによるわかりやすい説明があり広く深く原発問題について学ぶことができた」
- 十一「安倍首相のとんちんかんな原発は安全だなど何の根拠もない演説を聴くたびに怒りがこみあげていました」
- 十二「原発を廃止するという考えには同意できるが、具体的策が明示されていない。反原発論者の結束を高めるためだけの映画なのでしょうか」
- 十三「あらためて原子力発電所の怖さを感じられる映画でした。しかし視点・意見が偏っている印象が多少あります。今度、逆の意見のメディアに触れてみたいです。これを機会に原発について深く学び考えてみたいと思います」
- 十四「原発推進側の主張が分かりやすく、しかも非科学的な主張であることが明確でした。もっと知識を増やして発信する側になれるようにしたいです」
- 十五「あらためて原発の危険性と原発と大勢へのからくりを知ることができとてもためになった」
- 十六「とても分かりやすく原発が環境と日本経済の両面でどれほど悪影響を及ぼすかということが説明されていた。日本経済にとっても原発が良くないということが知らなかったので新しい知識になった」
- 十七「原発推進派と反対派で公開ディベートを行って欲しい。議論が深まるのではないかな」

(四) 参考

①<http://www.nihontogenpatsu.com/> 「日本と原発」の公式サイトです。